

大阪商工信用金庫のSDGs宣言

大阪商工信用金庫は、地域社会の発展に貢献する理念のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同いたします。その趣旨に即した活動を通じて、地元大阪の経済・社会・環境の調和を目指し、パートナーシップ理念による共創により、地域課題の解決に向けた新たな価値創出に貢献します。



SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動など、先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、すべての国に適用される普遍的な目標です。その達成のためには、先進国も途上国も各国政府や市民社会、民間企業など様々な主体が連携し、様々なリソースを活用することが求められています。

【基本方針】

1. 地域産業の共創・発展

地域の産業セクターと横断的に関わることができる立場を活かし、地域におけるSDGs達成に取り組む企業へのアドバイスやファイナンスを通じて新たな事業の創造や付加価値の向上を後押しし、企業・事業の成長と地域課題解決の推進の自律的好循環を支える役割を担います。

- ①環境問題の解決や社会課題の解決に資する企業への資金供給
- ②事業性評価を通じて地域事業者のSDGs達成に向けた取組みの見える化と連携促進
- ③包摂的かつ持続可能な産業を共創し、付加価値創出に資するイノベーションの支援

2. 地域社会とともに

「教育」及び「自然と調和したライフスタイル」更には「文化の多様性と文化の持続可能な取組への支援と理解促進」を通じて、すべての人々が安心して豊かに暮らせる地域社会を実現します。

- ①金融教育
- ②環境保護
- ③文化振興
- ④「大阪商工信金社会貢献賞」

3. ダイバーシティ&インクルージョン

誰一人として取り残さない持続可能な経済成長を目指し、働きがいのある仕事を持つ機会が形成され、個々の能力を最大限発揮できる取組を推進します。

- ①働き方改革
- ②両立支援
- ③人材育成
- ④女性、シニア、障がい者の活躍推進
- ⑤LGBT理解促進

以上